

第12回全国和牛能力共進会 福島県出品者結団式 開催！！

畜産部 家畜市場課

5年に1度開催されることから「和牛のオリンピック」と称される全国和牛能力共進会が、今回は第12回大会として10/6～10/10の期間で鹿児島県を会場に開催されます。この大会は和牛改良の成果実証と各県の和牛ブランドの威信をかけた熱き戦いが繰り広げられ、福島県代表種牛の部11頭、肉牛の部7頭、出品者18名、和牛審査競技会参加者2名が精鋭をもって参加いたします。

令和4年9月13日に福島県出品団の意識高揚と一致団結を目的とし、福島県出品者結団式を郡山ビューホテルアネックスにて開催しました。

結団式には、福島県代表出品者のほか、福島県、市町村、畜産関係団体、JAグループ出品対策委員等、総勢100名を超える皆様より出席をいただき、本会場において上位入賞を願う祈願祭などを行いました。

出品者決意表明においては、齋藤正剛出品団長（第2区出品者）より「多くの来場者が見込まれるこの大舞台で、福島県代表として優等賞入賞を勝ち取り、福島牛の飛躍を全国へ発信していく」との力強い宣誓をいただき、出席者全員、決意を新たにいたしました。

福島県出品対策スローガンは「新たな時代を駆け抜けろ 福島牛 今、躍進！」

皆様の熱きご声援、よろしくお願いします！



出品団長 必勝祈願



福島県出品団 記念撮影

～復興への想いと希望の襷を繋げ～

地元笑顔と活気を！！

管理部 販売企画課(広報)

東北希望の襷マラソンは、復興へ寄り添う想いと希望（＝地域活性化）の襷を繋いでいくことを目的に東北6県をマラソン大会を開催し、地元を大きく盛り上げる取り組みをしています。

第3回目は福島県大会が会場となり、県外・県内から多くのランナーが集結し秋晴れの中、心地いい汗を流していました。全農福島は福島県オリジナル米「天のつば」と「アスパラガス」を使用した地産地消カレーを販売し出場するランナーのお腹を満たすとともに、関係者・応援者の多くの方に県産農産物をPRしました。

またランニングタレント「安田美沙子」さんも販売ブースを訪れ、記念写真を快く引き受けてくださいました。安田さんは食の団体『ChefooDo』にもJoinしており、『食育』などの活動や料理本も出版されています。お子様が誕生したことで、改めて「食事」の重要性を感じ、本格的に食育の勉強を始められているそうです。



カレーは大人気！行列は何度も・・・



全農ブースで記念撮影をしてくれた安田さん

「JAでんき新規ご契約プレゼントキャンペーン」開催中！！

燃料部 エネルギー総合課

令和4年7月1日～年12月31日まで「JAでんき新規ご契約プレゼントキャンペーン」を開催しています。

対象期間中にJAでんきを新規お申し込みいただいた方の中から、5件に1件の確率で抽選でカザロジェラート5,000円相当分）が当たります！

また、JAでんきへの新規お申し込みで、3カ月間 各月1,000円（税込）割引するキャンペーンも実施中です！
※割引対象月の電気料金が1,000円（税込）に満たない場合はその電気料金を上限とし、割引きの残額は翌月に持ち越しません。

この機会におトクなJAでんきへのお乗り換えをしてみませんか？

お申し込み・ご相談は、JAでんきホームページ内に記載してあるお近くのJAでんき代理事業者までお気軽にお問い合わせください。



JAグループ電機

2棟目の米穀倉庫「あだたら美米蔵(うまいぞう)」竣工

～全農一貫パレチゼーションシステムを全面導入～

米穀部

全農福島は、中通り広域連合集出荷施設「あだたら美(う)米蔵(まいぞう)」を県央部に位置する本宮市のJAふくしま未来 安達地区本部の敷地内に建設し、9月8日に竣工式を執り行いました。全農福島が運営する2棟目の米穀倉庫となります。

施設は鉄骨造り平屋建て、庫内面積3700平方メートル、最大9000トンの米を収容できる低温倉庫です。県内には築40年以上経過した農業倉庫が多く、深刻化する収容力不足の解消と、将来的に増加が見込まれる担い手からのフレキシブルコンテナによる出荷への対応を目的として整備しました。

運用面では、入出庫・保管管理の業務をJAふくしま未来へ委託し、出来秋は当管内の集荷拠点として、年明け以降は県内各地からの集約拠点として活用します。また、物流合理化の取組みとして全農一貫パレチゼーションシステムを全面導入します。

竣工式には、施工業者である(株)会津土建の菅家洋一代表取締役、農業団体からは管野啓二運営委員会会長、数又清市副会長、山田浩幹常務ら関係者52人が出席しました。管野会長はあいさつで「全農は、JAとの連携をより一層強化して米集荷量の確保と保管費用の削減に努め、生産者手取り向上に貢献していく」と意気込みを語りました。



本宮市に完成したあだたら美米蔵



関係者らによるテープカット

～B1昇格 射程圏内!!～

2022-2023シーズン開幕

管理部 販売企画課(広報)

10月1日に地元郡山市で開幕した福島ファイヤーボンズの2022-2023シーズン。

全農福島は今シーズンも福島ファイヤーボンズのオフィシャルパートナーとして応援しています。また「食」の面でのサポートもおこなおうと、昨季から開幕戦前に激励品を贈呈しています。

チームには福島県のブランド豚を食べ「トントン(豚豚)勝つ(カツ)」ようにと願いを込め、村上慎也キャプテンに9月29日、麓山高原豚トンカツ用肉10kgを贈呈しました。

渡部県本部長からは「B1昇格を必ず成し遂げてほしい」と激励し、村上慎也キャプテンからは「体づくりが大切なので食の面でのサポートは非常にありがたい。期待に応じてB1昇格目指してシーズンを戦っていく」とのコメントがありました。

福島県民に明るい話題を提供いただき、県全体で盛り上げられるよう期待しています。頑張れ!福島ファイヤーボンズ!



地域社会への貢献 全農福島のクリーン作戦!実施

全農福島職員一人ひとりが身近なところからできることを考え、JA福島ビル周辺のゴミ拾いをおこない、住みよい街づくりに協力しています。



管理部 販売企画課(広報)